

JA出資法人を核とした地域ぐるみの新規就農サポート体制の整備

- 本地域は、スイートコーン、なす、野沢菜を中心とした露地野菜産地であるが、高齢化の進行により担い手不足が顕在化し、荒廃農地の発生が懸念されている。
- 荒廃農地の発生防止と解消を図り、農村地域の活性化と農業経営の円滑な継承を進めるため、新規就農者の確保、育成、定着までサポートする体制の整備が求められている。
- そこで、新規就農者誘致に係る地域関係機関との連携体制の整備するとともに、法人内における新規就農者相談体制の整備と就農相談、研修体制の強化に取り組んだ。

【位置図】



山梨県市川三郷町

取組前

- 地域農業を支える担い手の減少、高齢化が深刻化しており、外部から新規就農者を獲得する必要がある。
- 就農に向けた支援を各機関が実施しているが、一同が会する検討会がなく情報共有が円滑に行えていない。
- （株）アグリ甲斐が管理する以外の農地情報、住居や作業場も含めた地域の情報を共有するための組織がない。

取組内容

- 新規就農者参入促進会議の開催
- 新規就農相談会や就農魅力体験ツアー等による情報発信および誘致
- 短期農業研修の実施
- 個別就農相談・指導
- 町への就農支援の対策要請
- 取組内容の紹介イベント開催（収穫体験）



会議での情報共有

取組後(成果)

- 市川三郷町における以下の項目の人数増加がみられ、新規就農者育成に向けた体制の強化が図られた。
- 新規就農者数
R7：0人→R8：1人
- 就農相談者数
R6：0人→R7：3人
- 農業研修生受入れ人数
R6：2人→R7：5人



研修の様子

【誘致体制】

- 市川三郷町
就農支援事業の導入、就農者の生活安定支援、地域おこし協力隊の農業枠の拡充（R8年度）
- 市川三郷町農業委員会
農地情報提供や斡旋
- JA山梨みらい
施設や資材購入、販売支援
- 山梨県峡南農務事務所
事業導入支援、営農計画作成支援、経営安定に向けた技術・経営支援
- 町内農業者
技術研修サポートや農業経営の助言等

新規就農者や研修生の声

- 農業を仕事にする、ということの厳しい現実とそれ以上に農業という仕事の魅力を強く感じる事ができた。
- 就農してから定着までの具体的な道筋をイメージすることができた。

新規就農者誘致環境整備事業 活用年度：令和7年度

【問合せ先】株式会社アグリ甲斐

TEL：055-230-3200

E-mail：mail@aguri-kai.jp

HP: <https://aguri-kai.jp/>